

ライブデモンストレーション2014

Live demonstration 2014

挨拶

ストラクチャークラブ・ジャパン ライブデモンストレーション2014 開催のお知らせ

このたび「ストクラライブ2014」を担当させていただくことになりました慶應義塾大学の林田健太郎です。

このストクラ自体の構想は、2010年の第1回PCR London valvesの際に生まれました。当時日本ではまだTAVIの治験が始まったばかりであり、London valvesに参加していた日本人医師は森野先生、三宅先生、荒井先生、私の4人でした。そこで“Team Japan会”と称して集まり、将来日本にもこのようなSHDを勉強できる会ができるといいですね、と語っておりました。

それから4年、日本でもついに2013年10月よりTAVIの保険償還が得られ、現在急速に全国で実施施設が拡大しつつあります。2014年5月末までに日本全国で400例以上のTAVIが施行されておりますが、30日死亡率1%以下という、世界的に見ても非常に優秀な成績を収めています。しかし一方で過半数の症例がプロクターの指導下で行われており、今後我々がこの成績を維持発展できるか、日本のSHDインターベンション界の真価が問われるところです。

今回のストクラライブ2014では“Be practical”を念頭に、今後実施施設が拡大していくであろうTAVIを中心として、次世代デバイス(CoreValve, MitraClip, LAA closure etc...)や、adult congenital(ASD, PFO etc...)など幅広く網羅した内容を、ビデオライブや座学、イメージングセッションを中心に、先生方と一緒に学びたいと思っています。またCTによる弁輪測定、BAVなどのハンズオンや、若手医師のニーズに応え、留学セミナーも開催いたします。

先生方の明日からの臨床のお役に立てる内容となっておりますので、ふるってご参加いただけましたら幸いです。



挨拶

Faculty members

開催概要

プログラム

演題募集

PhotoAlbum

新規会員募集中！

ストラクチャークラブへの入会申込はこちら